

「今のサウジアラビアを知る～

国家改革計画『ビジョン2030』と最新経済・産業動向」

2024年10月26日（土）～10月31日（木・祝）



主な視察先・活動内容

1. ジェトロ・リヤド事務所によるブリーフィング（サウジアラビアの最新動向と日系企業動向）

ジェトロ・リヤド事務所の秋山所長より、サウジアラビアの概況、「サウジビジョン2030」の具体的な目標ならびに進捗状況、内政・外交の現状、ガザ紛争による影響、経済状況、今後の成長戦略、ビジネス機会と日本企業の進出事例、現地日系企業の業績・今後の事業展開予測等、サウジアラビアについて押さえるべきトピックを広範囲にわたってカバーいただき、実際の数字ならびにリアルな肌感覚をもって、分かりやすくご解説いただいた。特に政府主導の大型プロジェクトに関わるエピソードのご紹介や、現地日系企業対象のアンケート結果ならびにその分析結果は、当地をより深く理解する上で大変参考となった。



2. Daikin Air Conditioning Saudi Arabia LCC 視察

リヤド近郊（リヤド市から約150キロ、バスで約1時間半）に位置するステイル工業団地内、Daikin Air Conditioning Saudi Arabia LCC の組み立て工場視察を行った。ダイキン工業のサウジアラビア進出は2013年であり、当工場の設立は2022年とまだ新しい。城戸社長ならびに工場長より、同国の空調市場としての現状や将来性、同社のサウジアラビア政府やローカル社会へのコミットメント、雇用状況などについてお話いただいた後、工場内を実際に見せていただいた。実際にはシンガポール同様、規制が厳しい一面があるものの、同国でのビジネスに面白さを感じているという城戸社長の言葉が印象深く残った。



3. Toray Membrane Middle East LLC 視察

東レ社は、「サウジビジョン2030」に合わせ、2014年にサウジアラビアの第3都市ダンマームにToray Membrane Middle East LLCを設立。田村社長ならびに岸川課長より、同社が日サウジアラビア両国政府に対し、全面的なコミットメントを期待されて設立に至った経緯や、同国の水関連市場、ローライゼーション等についてお話いただいた。現在、同国では生活水の需要に対する供給はおおよそカバーできている一方で、新規大型プロジェクトに付随し、水の需要は拡大する一方であるとのこと。その後工場内を視察し、昼食を共にしながら駐在員の生活事情についてもお話いただいた。



4. Yokogawa Saudi Arabia Company 視察

2021年、横河電機がキング・サルマン・エナジー・パーク (SPARK) デジタル・ハブに開設した最先端の工場を視察。Head of KSA Project Deliveryの中野氏、VP of Regional Sales & Servicesの綿民氏、Country Manager of KSA Sales & MarketingのBader AlKhalifaにプレゼンテーションをしていただいた。

同社は中東に多くの拠点を持っているが、中東内の他国からの引き合いも多かった中で、サウジアラビア政府による入札方針やボリュームを重視して統括拠点を持ったこと、またローカル人材の育成や女性の社会進出にも多大な貢献をされてきたことなど、興味深いお話をしていただいた。その後の視察では、ローカル人材が最新の注意を払って作業をされている様子など、間近で見せていただいた。



5. 在サウジアラビア大使館・リヤド日本人会との意見交換会

在サウジアラビア日本国大使館より駐サウジアラビア特命全権大使の岩井氏と一等書記官（経済班長）の楠田氏、リヤド日本人会より会長の山縣氏と副会長の中川氏・水之江氏、ジェトロ・リヤド事務所の秋山所長、Daikin Air Conditioning Saudi Arabia LCC の城戸氏をお招きし、昼食とともに意見交換会を開催した。シンガポール駐在歴のある方も多く、両国を比較しながらの話題が絶えず、知見を深める良い機会となった。



参加者から主なご感想：

◆初の中東、しかも風俗習慣的にもイスラム教の教えが浸透しているサウジアラビアが主目的地だったが、想像以上に近代的で開かれた印象だった。数日間の滞在ながら、現地邦人識者のお話、日系工場の訪問を通じて、また食事等の文化を肌で感じることで、中東に親近感を覚えるようになった。まさに百聞は一見にしかず。自分にとって未開の地を開拓したいという欲望が出てきた意味でも、大変貴重な経験となった。

参加者名簿

1	会頭	江口 大二郎
2	副会頭	馬場 孝一郎
3	副会頭	富井 淳司
4	副会頭	杉島 淳
5	運営担当理事	橋本 和俊
6	運営担当理事	杉田 充
7	理事	西田 知之
8	理事	関 邦彦
9	理事	疋田 智一
10	参与	木村 洋一
11	会員	北川 博幸
12	事務局	梁 瑜
13	事務局	後藤 志帆

◆サウジアラビアが、中東のHQ機能拠点、更にアフリカもビジネスとして視野に入れて国策を進めている事は、新しい勉強となった。また「ビジョン2030」という計画を明確なKPIの下に進めている点は、わかりやすいと思った。訪問させていただいたダイキン様、東レ様、横河様には、大変感謝をしている。

◆現地の様子を見ても海外からの投資が増えてきていることが肌で感じられ、サウジアラビアの今後のポテンシャルをよく理解できた。日系企業の訪問を通じて、各社様とも独自の強みを活かしつつ、サウジアラビア市場にコミットされている姿が非常に参考になった。

◆事務局には、文化・慣習の全く異なる、最果ての地でのミッションの難しいアレンジにご尽力いただいた。私自身、サウジアラビアというアラブ圏の総本山ともいえる国を訪れ、日本企業のオペレーションを見聞きできたことは大変有意義で、良い刺激となった。多くの会員企業では、APAC域内は本来業務での出張機会が多くあるため、グループでミッションを組んで視察する場合には、普段では行く機会がめったにない「APAC域外」で、話題や関心を集めている国を候補としていくのが望ましいと改めて感じた。

◆サウジアラビア、バーレーンは弊社の業務の管轄外の国であったため、今回の視察が非常に貴重な機会となった。特に、岩井大使、JETROリヤド秋山所長のコメント、ブリーフィングの現地視点の考察は興味深いものだった。また、なにより和気藹々とした雰囲気、視察団に参加された皆様と移動や会食ができ、本当に楽しい視察となった。

◆今回は実質3日稼働でしたが、長さ的にはちょうど良いと感じた。訪問先企業も適切であったと思う。ほぼ全員が初めて訪れる国だったので、駐在員の生活や、地元の市場などの視察もしたかった。ホテルについては進出している日系企業の意見もヒヤリングして選定したほうが良かった。

◆個人的には、23年ぶりのサウジ出張ということで、前回の記憶（入国の緊張感）が焼き付いていたが、ここまで外国人に対する投融資含めた受入対応が緩和されたことに驚きを感じた。また、当時は女性が出歩くところはほとんどみられず、また車の運転も禁止されていたため、今回の視察は大変別世界をみるようで、サルマン皇太子のリーダーシップによる脱石油に込めた危機感を感じたと同時に、大型プロジェクトが目白押しの現場を視察することができ大変有意義だった。一方で、プロジェクトの進みが遅いことや、投資環境での課題も認識できたが、マーケットの魅力は十分に認識できた大変有意義な視察だった。

◆訪問国はサウジアラビア、バーレーンとそのギャップも含めて良い経験が出来た。また訪問先企業、ビジネスミーティングとも、直接現地でご勤務されている皆さんの話をお聞きすることができ、とても勉強になる企画だった。エンターテイメント、食事也十分に楽しませていただいた。リヤドのホテルのファシリティが良くなかったのが残念だった。多少トラブルがあったが日系旅行代理店が進出していない国なので、オペレーションはかなり大変だったのではないかと。

◆非常に有意義な視察となった。事業所がない場合、サウジ、バーレーンといった国に行くこと、現地で視察を行う事は簡単ではない。今回、JCCIさんのご尽力により、日系企業の訪問ができ、また直接JETRO含めてお話が聞けたのは大きな成果である。また、今後の事業展開のヒントにも繋がった。併せて、皆様とのネットワークも構築できたことも大きな成果だった。